

日中友好協会創立60周年 記念集会

日時：9月26日（日）午後2時～6時

会場：ホテル「サンルート岡山」

会費：5,000円

第1部 記念講演

日中友好協会の歴史（60年のあゆみ）

講師：日中友好協会 矢崎光晴本部事務局長

休憩

第2部 祝賀会

歓談

催し物 太極拳の表演

二胡演奏

倉敷支部の三線

太極拳有志のオカリナ演奏

その他

1950年10月1日、日本中国友好協会は、岡山県井原市出身の内山完造氏を初代理事長として東京で結成されました。今年2010年は、協会結成から60年の記念すべき節目の年です。

この間、侵略戦争をひきおこした政府の責任を明らかにしつつ、誤った中国観と偏見を正す国民的な運動を展開してきました。特に、2度と再び戦争の過ちは繰り返さないと誓い、不再戦平和の運動に取り組みました。

日中岡山支部は、本年度総会において「日中友好協会創立60周年記念集会を成功させましょう！」と決定し、9月を「日中創立60周年記念月間」として、中国料理教室、柳条湖事件の街頭宣伝、日中創立60周年記念岡山集会などの行事を計画しています。



日中友好協会岡山支部

第35回中国料理教室

講師：馬小菲 (マ シアオフェイ) さん

日時：9月12日（日曜日）午前10時～

場所：岡輝公民館

参加費：1,100円（日中会員 1,000円）



〈レシピ〉

餅巻菜(ピン チュアン ツアイ)
ナスとジャガイモの煮込み
えのきの和え物



〇お申し込みは電話・FAXで
0862-264-1414

竹内までお申し込みください。

日本と中国・世界の 平和友好のために

9月18日は、柳条湖事件（満州事変）から79周年、1931年9月18日、中国東北地区瀋陽で日本軍が鉄道爆破事件を起こし、日本軍はこれを中国側の仕業として中国東北部を占領、傀儡「満州国」を作り上げました。

私たち日中友好協会はかつての戦争の反省のうえから、二度と日本と中国が戦うことを

ないよう、日中不再戦、世界の平和のために、街頭宣伝を行います。

皆様の協力をお願いします。

9月18日（土）

午前10時30分から

表町天満屋・アリスの広場前



題字 萩原田 親

No. 613

2010/8/15

日中友好新聞

発行所

日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区
西新1-1-1 東洋大学ビル3階

日中友好協会
岡山支部

〒710-8236
岡山市東区3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号11所
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部

〒712-8911
倉敷市連島中央1-8-1
(宮地方)
TEL/FAX:0860446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://izhong.web.infoseek.co.jp>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



第80回日中文化講座

「いまの中国をどう見るかー映画・漫画を通してー」

石子順氏 講演・23

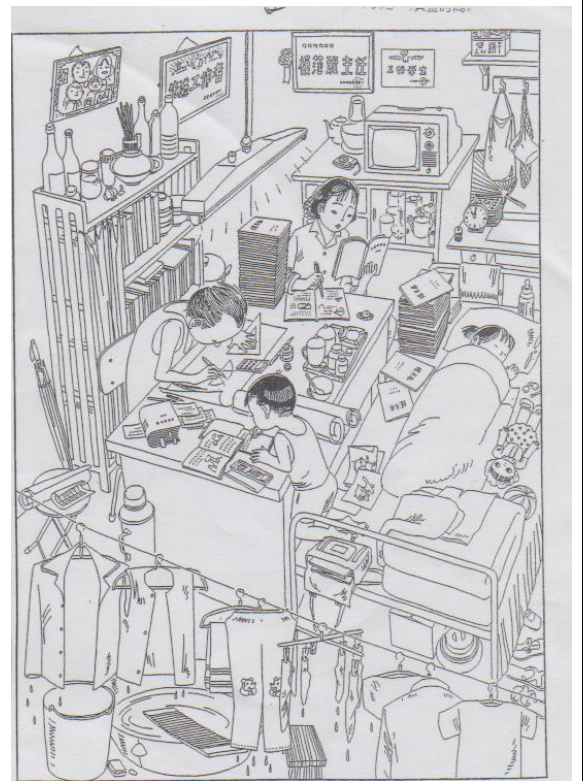
もうひとつのコピーを見て欲しいんですが、10点ほどの漫画を集めてあります。番号を振ってありますが、一番右上の9番です。この漫画のタイトルは黄金の時間」と言うタイトルです。こんなに狭い部屋で一家が一生懸命住んでいて、お父さんもお母さんも、自分も一緒に勉強していて、妹だけが小さいから早く寝ている。後ろの時計を見るともう11時をさして

る。とにかく狭いから家の中で皆で生活している。これはこれから良くなるというのを意識した、80年代の意識ですね。この瞬間というのは、平和な時間で皆一生懸命目標に向かって頑張っていた時間で、その時間のことをこの漫画のタイトルは「黄金の時間」というんですね。何ともいえない、この漫画はもともともと大きいんですけど縮小してコピーしました。お母さんの

顔も凍々しくてね、お父さんと息子はうつむいたままだけで、こまごまとした部屋の中、部屋は一室しかないんだけど、そこに一生懸命、一家そろってな

かに向かってやっている時間、こういう時間があったんだなあ。これは中国風の羽生の宿なのかなあと思つてね。

つづく



黄金の時間

馬さんの家を訪ねて・・・ 楽しい食事会

8月8日、日中岡山の中国語講座と料理教室の担当をしている馬小菲さんの家を訪ねました。妻とその友人2人及び何曉麗さんと私の5人です。

この日は、馬さんを中心に4人で料理した、マーボー豆腐など7品目をおいしく頂きました。食後は、馬さんたちが参加した「うらじや」のビデオを見た後、弟さんの 胡芦絲(フルーソ)（瓢箪の弦楽器・中国の民族楽器)の演奏を聴いたりして楽しいひと時を過ごしました。何さんは、元岡山大学の留学



後列左から 何さん、馬さん、馬さんの弟、馬さんの従姉妹、その友人、前列左から 小林さん、妹尾さん、大西さん

中国・福建省に行ってきました。⑧

真田紀子

4日目は、泉州市内観光と福州に移動して、開元寺へと雨の中向かいました。開元寺は空海が中国へ渡ったときに最初に立ち寄った寺として有名だそうです。日本からのお参りの方々も多いそうです。寺の門をくぐった右側には、日本から送られたという空海の銅像と空海入唐の地の記念碑が建っています。

今日が最後の日ですので、どこかスーパーによって買い物をしたいと、ガイドの龔衛紅(キョーエーコー、年齢は聞きそびれましたが、多分40歳前だと思います。)さんに交渉をしたところ、ホテルから歩いていけるところにかなり大きなスーパーがあるとのこと、夕食の後、雨の中を希望者で行くことになりました。中国では大きいことは良いことのように、スーパーも規模の大きなものが人気で、カルフル(家楽福、フランス系)やウォルマート(沃尔玛購物広場、アメリカ系)などが大きな都市には必ず出店しているようです。厦門では、その両方の店に行ってみました。

おわり



空海の銅像と空海入唐の地の記念碑

上野千鶴子を読む会

日中岡山「九条の会」

日時:9月11日(土) 午前10時～ 会場:岡西公民館

参加費無料

上野千鶴子と辻元清美の対談集という形になっています。日本の今の閉塞状況をもたらした最大の原因は、「政府も財界も労働組合さえも、夫一人が大黒柱という男性稼ぎ主モデル」と家族給システムを死守した」ことである。1985年に、国民年金の第二号被保険者制度が成立した。第三号被保険者とは第二号被保険者(雇業者)の無業の妻のこと。この人たちの年金保険料の免除と個人としての年金権が確立した。：「専業主婦優遇策」とまちがって呼ばれた政策は、その実「オヤジ優遇策」だった。衝撃的な言葉が続きます。まるで平手打ちをくったような気分です。皆さんもいかがですか。暑さを通り越して寒気を覚えるかもしれません。岩波新書版で780円です。今回はお買い求め下さることをお勧めします。

本は.. 世代間連帯」

生で、卒業後は倉敷の会社に就職しています。岡大留学生時代は、通訳として「孤児」訴訟の支援活動、それに日中岡山の中国語講座の講師などで大変お世話になりました。馬さんの先輩です。

馬さんは、8月12日から17日まで、中国語講座の生徒さんと日中岡山の竹内理事長夫妻、稲葉、真田、西森理事と馬さんの実家がある内モンゴルの赤峰市へ旅行に行きます。参加者のお土産と旅行記が楽しみです。

日中岡山事務局長 小林軍治

次回の新聞送付作業は
9月1日(水)午後1時半
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方
です。

吹林和
小真内
真竹内
竹坪井
西森